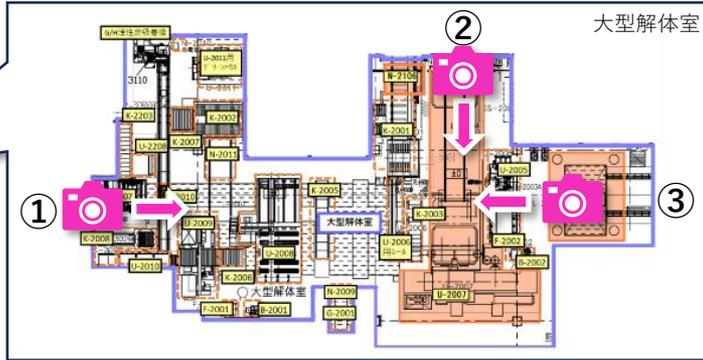


大型解体室解体撤去工事

西棟 1F



大型解体室



大型解体室に残存している装置・機器類約177tを令和7年3月末に解体撤去工事完了。

大型解体室解体撤去工事

- 解体装置数：31基
- 解体撤去重量：177ton
- 払出量：201.5ton（不要物24.5ton含む）

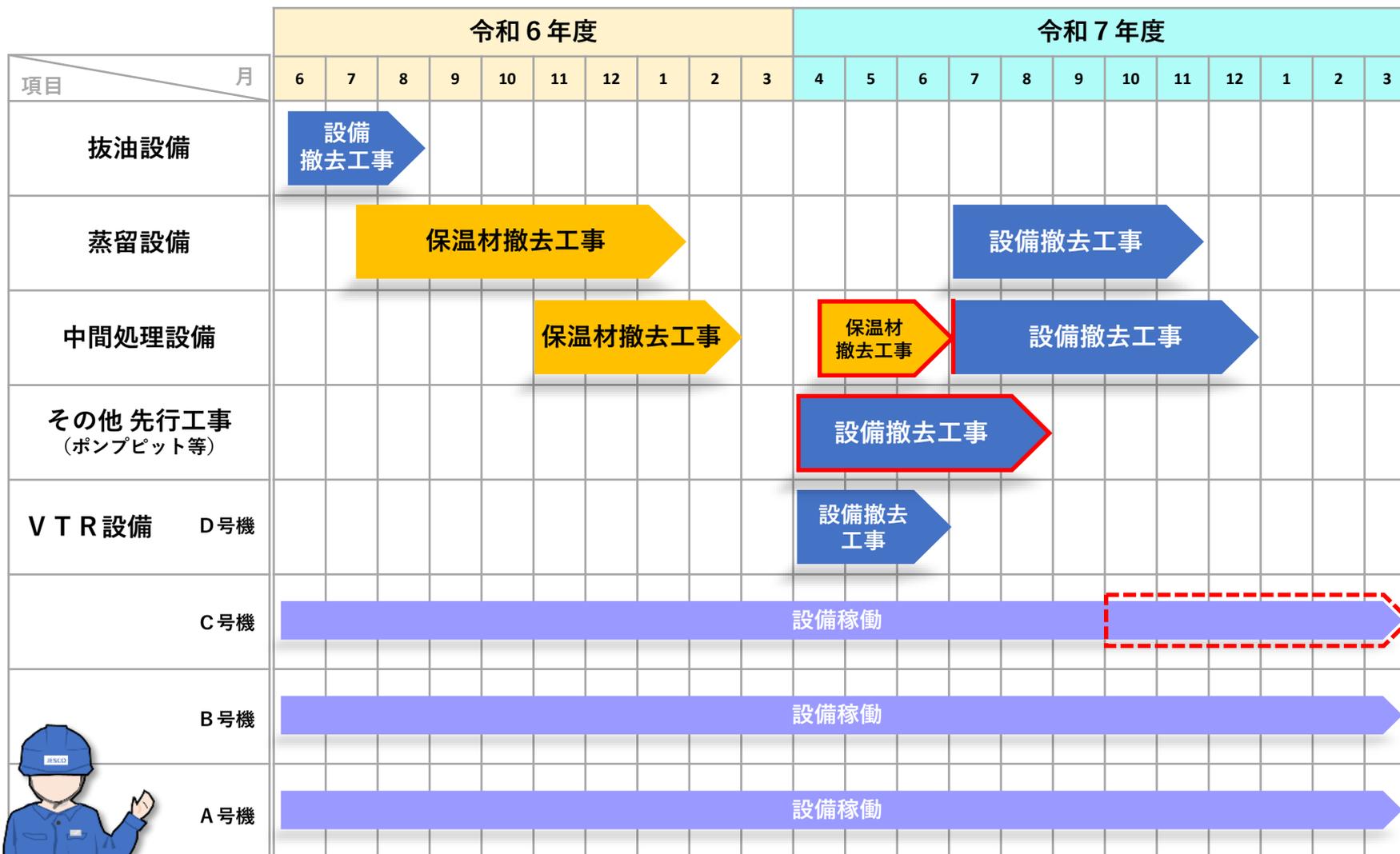
解体撤去前



解体撤去後



プラント設備解体撤去工事



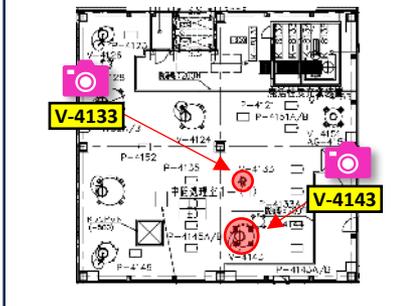
中間処理設備の保温材撤去工事

中間処理設備 保温材撤去工事

東棟 1 F



中間処理室 1-(1)



< R7.3~7末までの実績 >

- 無害化処理認定施設
： 0 ton (今後払出し予定)
- 産廃処理施設
： 1.5 4 ton

解体撤去前



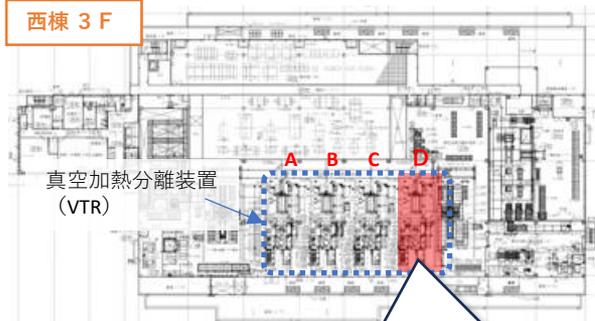
解体撤去後



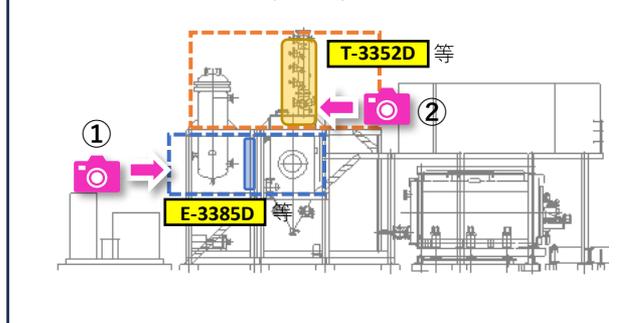
真空加熱分離装置D号機解体撤去工事

真空加熱分離装置D号機解体撤去工事

西棟 3 F



真空加熱分離装置D号機 (側面図)



令和7年4月より6月までの
工期で解体撤去工事完了。

- 解体撤去量：約 2.3 ton
(VTR本体以外の設備)

解体撤去前



解体撤去後



E-3360D 真空凝縮器の解体撤去・VTR処理について



真空凝縮器
引き抜き作業



グリーンハウス内



切断部

汚染部分を養生、密閉しPCBの拡散防止対策を講じ真空凝縮器を吊り治具にて引き抜く。

引き抜いた真空凝縮器を切断するためグリーンハウス内へ移動。

グリーンハウス内でバンドル部の切断を実施。

真空加熱分離装置にかけた部材を分析し卒業判定基準 ($0.1\mu\text{g}/100\text{cm}^2$) 以下であることを確認。

結果

分析依頼書

分析依頼日: 2025.04.04

分析依頼先: 250605

分析依頼品名: 真空凝縮器 VTR

分析依頼品番: 250605

検体No	サブ名	年層	検体ID	分析条件	採取場所	採取日	採取者	測定項目	結果	単位	材質	方法	検出
N1207	銅板	C	P2003	試液取付	面取	25	宮崎	鉛	<0.02	μg/100cm ²	銅	放射線	合格
N1209	銅板	C	P2405	試液取付	面取	25	宮崎	鉛	<0.02	μg/100cm ²	銅	放射線	合格
N123	銅板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	銅板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	銅板	C	P2103	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	アルミ板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	銅板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	銅板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	銅板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	銅板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	銅板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格
N122	銅板	C	P2003	面取試験	面取	25	宮崎	鉛	0.002mg/kg	mg/kg	銅	放射線	合格

分析結果: 結果欄に '<0.02' と記載されている。

結果: $<0.02 \mu\text{g}/100\text{cm}^2$

分析



切断品
VTRケースへ

切断部材をVTRケースへ入れ、真空加熱分離装置にて処理を行なう。

参考：VTR-B号機 真空凝縮器行きバイパスラインの苛性による浸漬洗浄について

苛性洗浄前



●真空凝縮器行バイパスライン

配管内面 **3,700** $\mu\text{g}/100\text{cm}^2$

苛性による浸漬洗浄

●苛性漬け置き時間：一晩漬け置き（PM5：00～翌朝AM9：00）

●リンス水漬け置き時間：一晩漬け置き（PM5：00～翌朝AM9：00）

苛性洗浄後



●真空凝縮器行バイパスライン

配管内面 **63** $\mu\text{g}/100\text{cm}^2$